

平成30年度当初予算の概要



平成30年2月
上天草市

1. 平成30年度予算編成方針

(1) 重点化事業への優先的な予算配分

平成30年度予算編成方針（平成29年10月4日付け）において、平成30年度に集中的に実施する6つの取組みを**重点施策**として選定し、重点施策の推進のための事業を**重点化事業（61事業）**と位置づけ、優先的に予算を配分。

【重点化事業】

①観光需要と観光消費を拡大する事業（最重点戦略）

②農林水産物の生産・加工商品開発・販売を促進する事業（最重点戦略）

③地域ぐるみで子育てしやすいまちをつくる事業（重点戦略）

⇒①～③は、第2次総合計画（計画期間：H26～H35）の基本構想において、最重点戦略及び重点戦略として位置付けている事業。

④安定した魅力ある雇用を創出する事業

⇒まち・ひと・しごと創生総合戦略（計画期間：H27～H31）に掲げる取組みの中で、評価指標（KPI）の早期達成が急務となっている「地場産業の強化支援による雇用の場の確保」を推進する事業。

⑤災害に強い地域づくり、市民の防犯・防災意識の向上を図る事業

⑥合併後における課題を解決する事業

⇒⑤⑥は、熊本地震を契機に高まる防災への取組みをはじめ、合併特例債発行期限の最終年度である合併後15年を迎えるにあたり、本市における様々な諸問題の解決に向け集中的に取り組む必要がある事業。

(2) 予算編成を通じた行財政改革の一層の推進(マイナスシーリング方式)

日常的な行財政改革に加え、平成30年度予算編成においても、義務的経費等（人件費、扶助費、公債費、広域連合等の負担金）を除いた「一般行政経費」については、要求上限額を、前年度当初予算における一般財源所要額の90%まで（10%削減）として、各部局における自主的見直しを推進。

(3) ふるさと応援基金、地域振興基金等の積極的な活用

① ふるさと応援基金

平成29年度のふるさと応援寄附金（ふるさと納税）の額が4億円（前年比116.8% H28：3億4,200万円）を超える見込みとなったことから、平成30年度は、この基金を活用して新規事業を中心に充当。（H29：2億7,200万円⇒H30：4億円）

② 地域振興基金

合併特例債を財源として積み立て、合併後のまちづくり等のソフト事業に活用できる地域振興基金（H28末：19億7,800万円）について、対象事業の財源として活用を拡大。（H29：2億円⇒H30：3億円）

2. 平成30年度一般会計予算の概要

(1) 歳入歳出予算総額

<一般会計> 歳入歳出予算総額 189億1,156万5千円

※対前年度比 +20億6,435万8千円 (+12.3%)

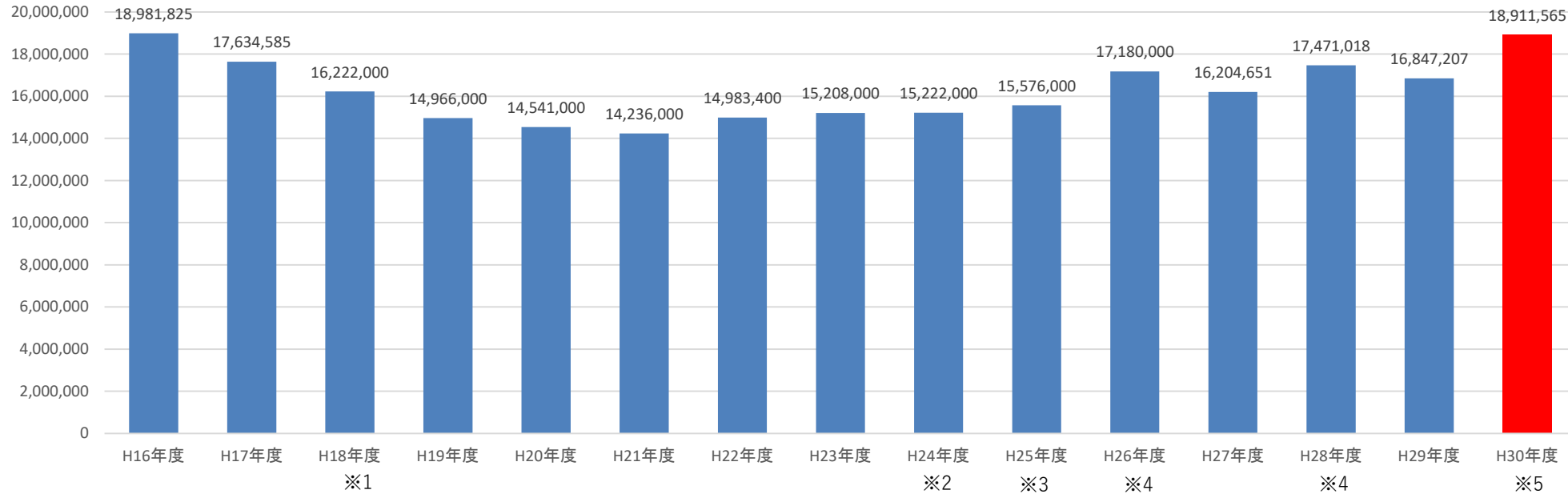
(平成29年度当初予算：168億4,720万7千円)

○平成30年度予算は、合併後15年目、普通交付税の合併算定替えの最終年度という節目を迎え、総合計画（前期）の最終年度でもあることから、4町の均衡ある発展と地域経済の再生を目指し、健全な財政運営を維持しつつ、合併特例債の活用期限を踏まえた公共施設等の整備・改修の推進、観光振興、地域活性化・地場産業支援の充実、子育て支援の拡充、防災対策の強化など、ハード・ソフト両面から積極的な予算編成を行った。

○対前年度比で予算総額が増加した主な要因は、（仮称）大矢野宮津地区複合施設整備事業（7億2,000万円）及び防災行政無線デジタル化整備事業（3億3,750万円）の新規計上、（仮称）龍ヶ岳保育園新築事業（4億7,745万8千円）の本体工事等の着工に伴う事業費増などによるもの。

○合併以降の当初予算の推移（H16～H30）

単位：千円



- ※1 平成18年度に「上天草市リバイバルプラン（財政健全化計画）」（計画期間：H19～H23）を策定し、人件費及び公債費等の削減に努めた結果、平成21年度にかけて当初予算額は大きく減少。
- ※2 その後、引き続き、財政健全化に努め、平成24年度に「財政強化計画」（計画期間：H24～H25）の策定により、平成22年度から平成25年度まで約150億円台の予算規模で推移。
- ※3 普通交付税の合併算定替の段階的縮減を見据えて平成25年度に「第3次財政計画」（計画期間：H26～H31）を策定。
- ※4 平成26年度は、公債費の抑制のための大規模な繰上償還、平成28年度は、地域振興基金の積み増しにより予算規模は170億円台となる。
- ※5 平成30年度は、合併後15年目という節目を迎え、平成29年度に引き続き、行財政改革の一層の推進により財政健全化に向けた方向を堅持しつつ、ふるさと納税、地域振興基金等を活用するとともに合併特例債の発行期限を見据えた集中的な投資により約189億円の予算規模となった。

(2) 歳入予算の概要

< 自主財源 > 4 5 億 8 1 3 万 4 千 円

※対前年度比+ 1 0 億 5, 1 6 6 万 8 千 円

< 依存財源 > 1 4 4 億 3 4 3 万 1 千 円

※対前年度比+ 1 0 億 1, 2 6 9 万 円

- 自主財源比率は23.8%（H29：20.5%）、依存財源比率は76.2%（H29：79.5%）となった。
- 依存財源も増となったものの、自主財源は対前年度比において依存財源額を上回る額を確保したことから、自主財源比率は、対前年度比3.3ポイントの改善となった。

※ 自主財源：地方税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入

※ 依存財源：地方譲与税、各種交付金、地方交付税、国庫支出金、県支出金、市債

○ 主な増額項目

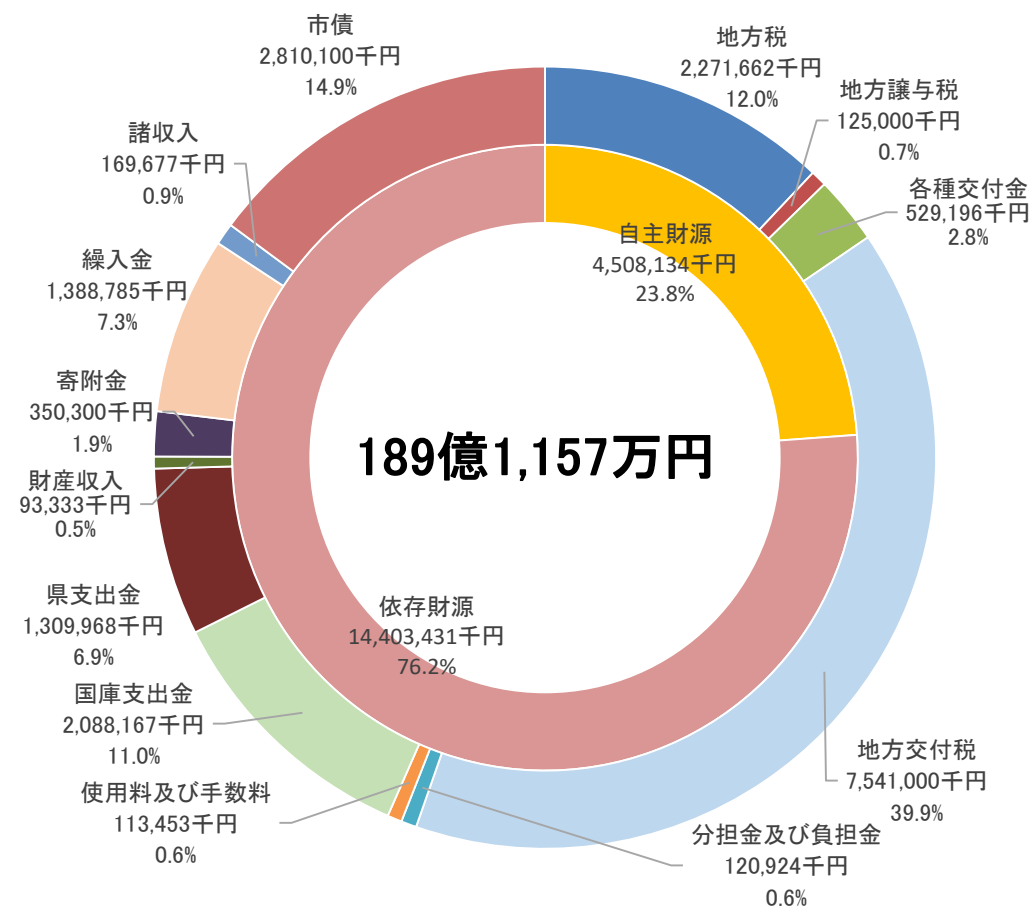
- ・ 国県支出金（+ 3億2,947万7千円）【依存】
- ・ 寄附金（ふるさと応援寄附金）（+ 2億5,030万円）【自主】
- ・ 地域福祉基金繰入金（+ 2億円）【自主】
- ・ 図書館建設基金繰入金（+ 3億2,000万円）【自主】
- ・ 市債（+ 7億7,860万円）【依存】
 - ※ 過疎対策事業債（+ 1億530万円）
 - ※ 合併特例債（+ 6億380万円）
 - ※ 緊急防災・減災事業債（+ 1億1,740万円）

○ 主な減額項目

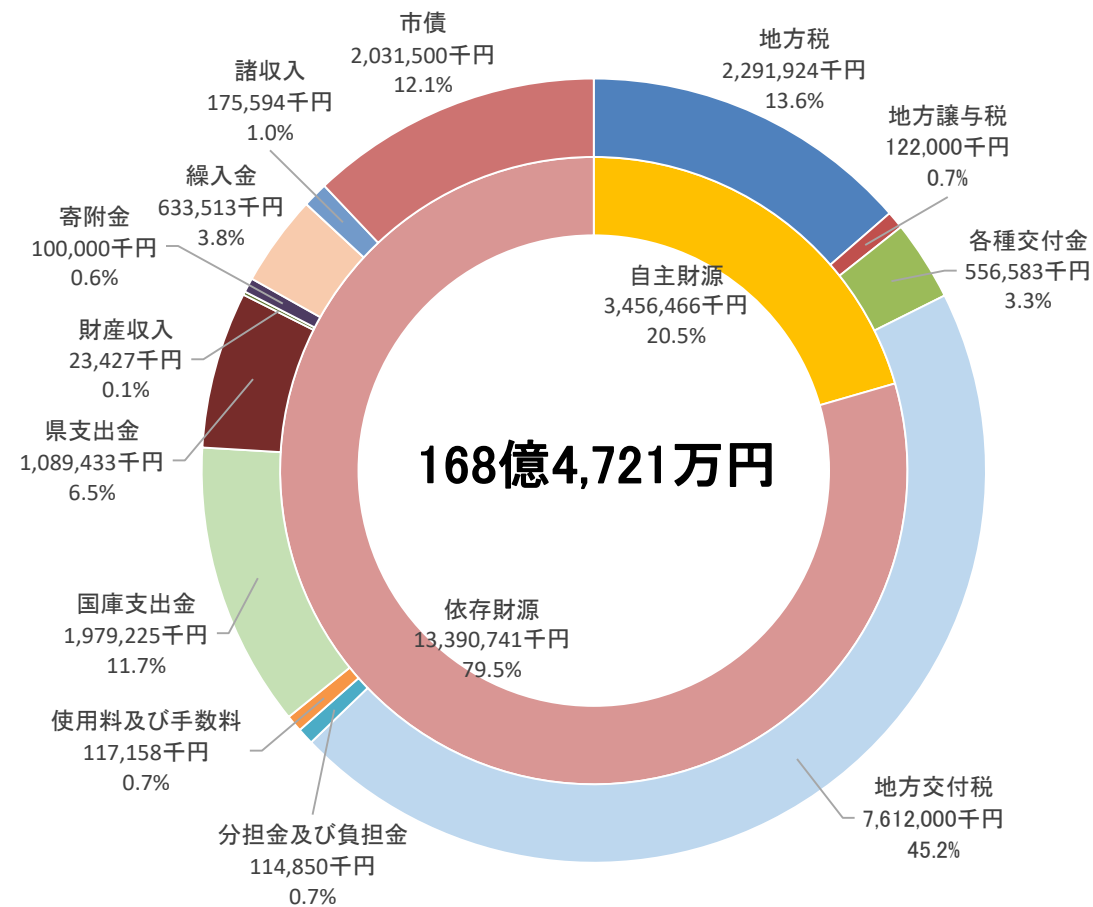
- ・ 地方税（▲ 2,026万2千円）【自主】
 - ※ 3年ごとの固定資産税評価替えを勘案して減額計上。
- ・ 地方消費税交付金（▲ 2,060万円）【依存】
- ・ 普通交付税（▲ 7,100万円）【依存】
 - ※ 合併算定替の段階的縮減、国予算における地方交付税総額（対前年度比▲ 2.2%）を勘案して減額計上。

○歳入予算の内訳

H30年度



H29年度



(3) 歳出予算の概要

①－1 目的別歳出（款別）

○ 主な増額項目

- ・ 民生費（＋12億2,607万6千円）
- ・ 土木費（＋4億580万8千円）
- ・ 消防費（＋3億1,661万8千円）

○ 主な減額項目

- ・ 衛生費（▲1億235万円）
- ・ 教育費（▲3億5,888万9千円）

○ 主な増額要因

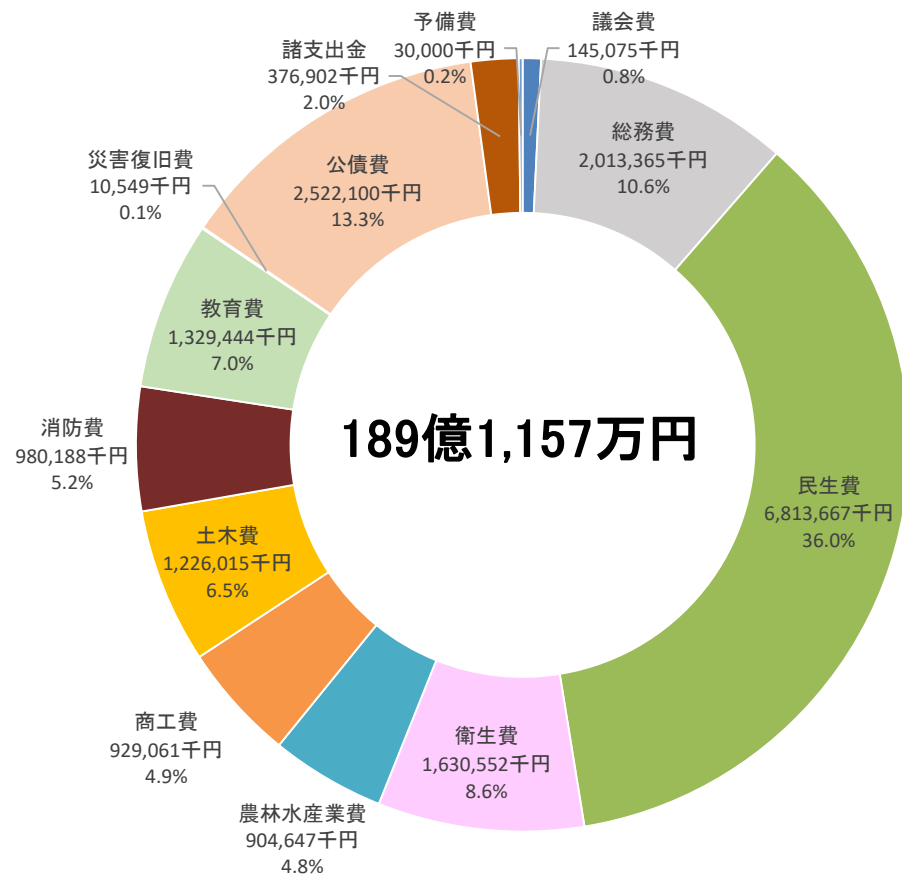
- ・ 民生費：（仮称）大矢野宮津地区複合施設整備事業の新規計上、（仮称）龍ヶ岳保育園新築事業の本体工事等の着工に伴う事業費増等による増額。
- ・ 土木費：市道永浦樋合2号線道路改良工事（社交金）の新規計上、樋島大橋補修工事、市道舗装工事等の事業費増に伴う増額。
- ・ 消防費：防災行政無線デジタル化整備事業の新規計上等に伴う増額。

○ 主な減額要因

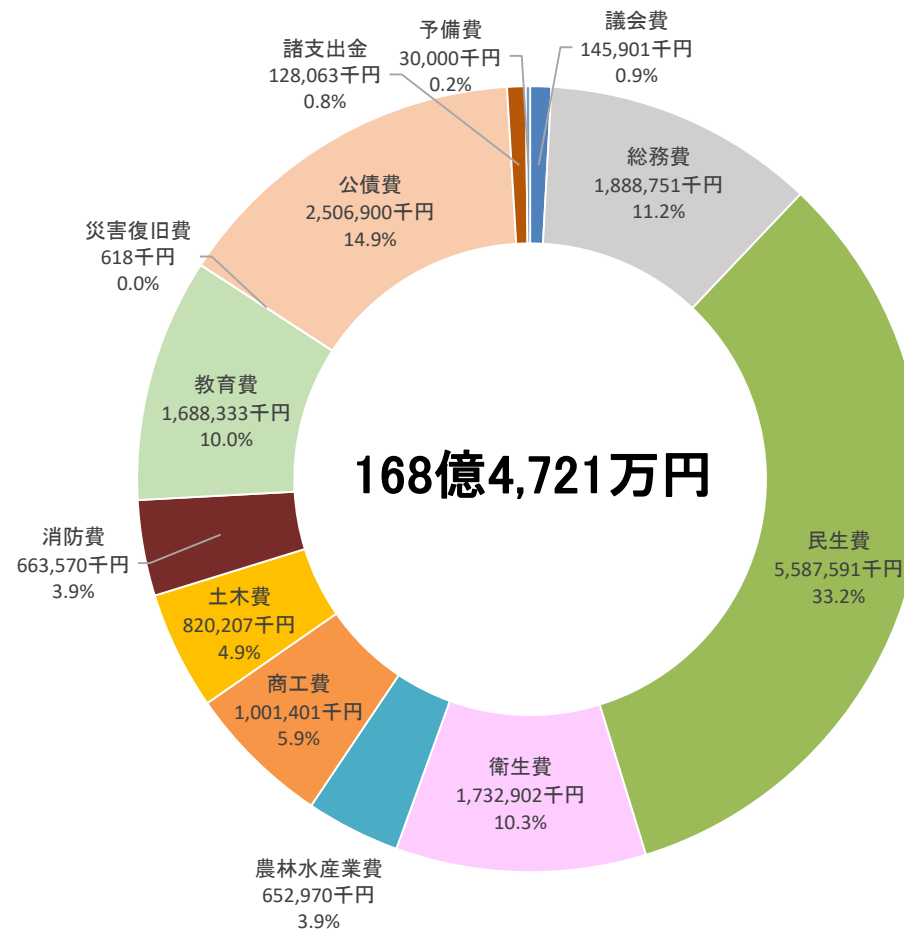
- ・ 衛生費：病院事業負担金・出資金、スパ・タラソ天草外壁改修事業等が減となったことに伴う減額。
- ・ 教育費：松島総合センターアロマメインアリーナ空調設備事業、松島総合運動公園陸上競技場人工芝整備事業の皆減。

①－２ 目的別歳出（款別）

H30年度



H29年度



②－1 性質別歳出

○ 義務的経費（人件費、扶助費、公債費） 85億8,012万9千円（+ 8,191万2千円）

- ・ 人件費 28億4,916万8千円（▲1億1,711万7千円）
- ・ 扶助費 32億886万1千円（+ 1億8,382万9千円）
- ・ 公債費 25億2,210万円（+1,520万円）

○ 投資的経費（普通建設事業費、災害復旧事業費） 38億2,103万6千円（+ 16億5,931万3千円）

- ・ 普通建設事業費 38億1,048万7千円（+ 16億4,938万2千円）
- ・ 災害復旧事業費 1,054万9千円（+ 993万1千円）

○ その他の経費 64億8,040万円（+ 3億2,313万3千円）

【増額項目】

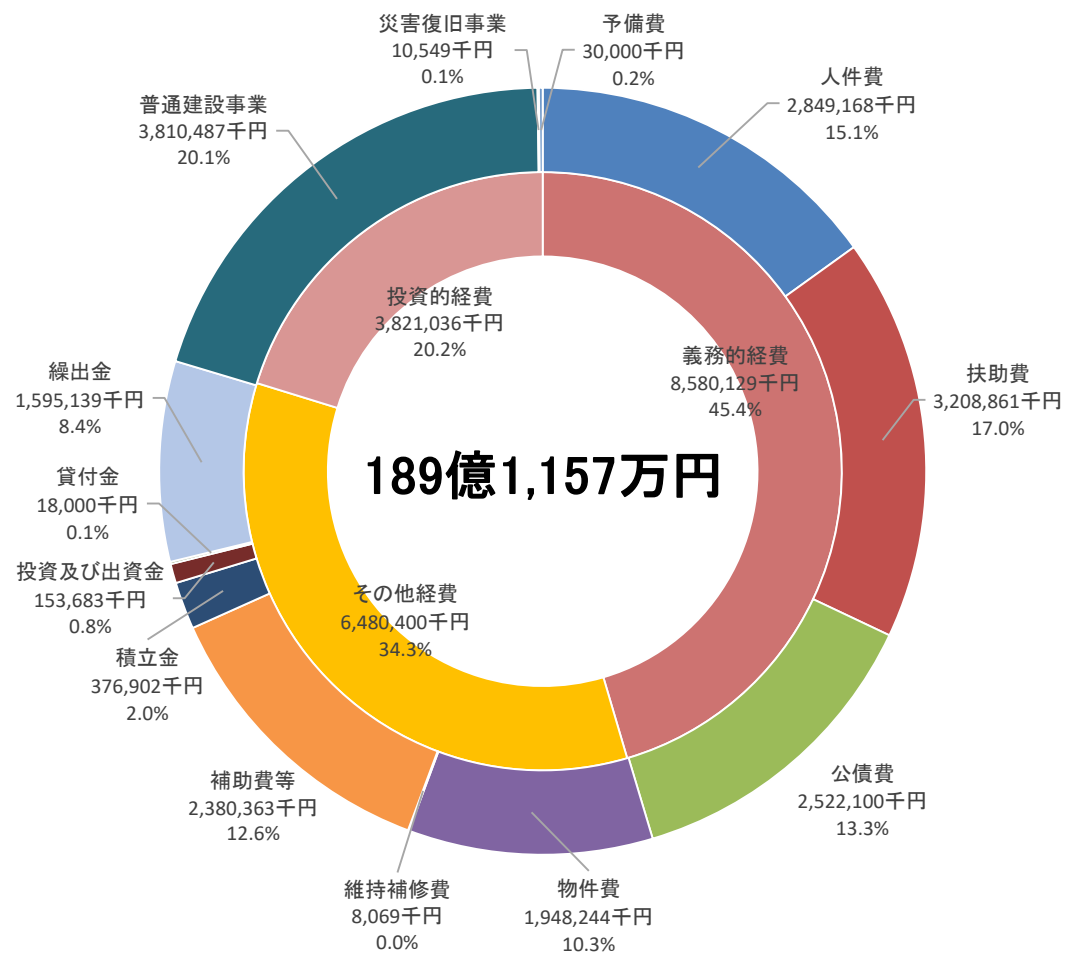
- ・ 物件費 19億4,824万4千円（+ 1億2,672万3千円）
- ・ 積立金 3億7,690万2千円（+ 2億4,883万9千円）

【減額項目】

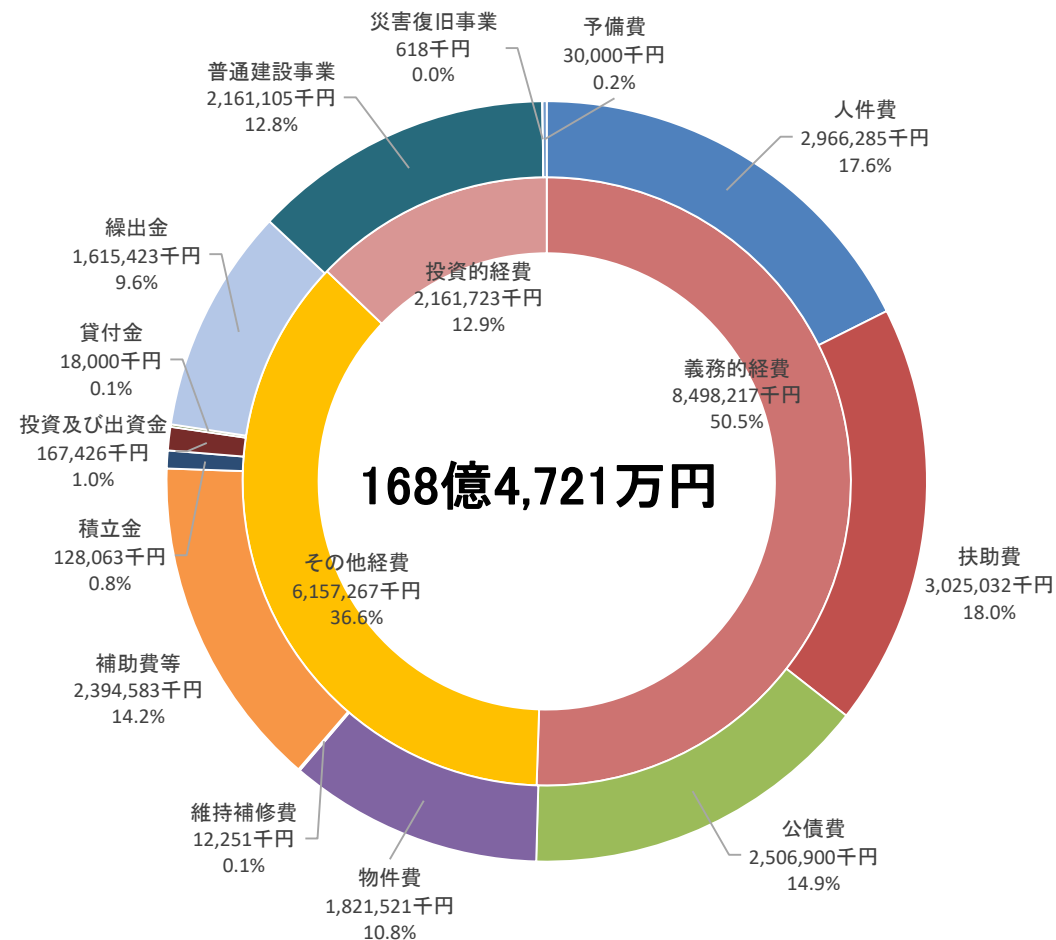
- ・ 維持補修費 806万9千円（▲418万2千円）
- ・ 補助費等 23億8,036万3千円（▲1,422万円）
- ・ 投資及び出資金 1億5,368万3千円（▲1,374万3千円）
- ・ 繰出金 15億9,513万9千円（▲2,028万4千円）

② - 2 性質別歳出

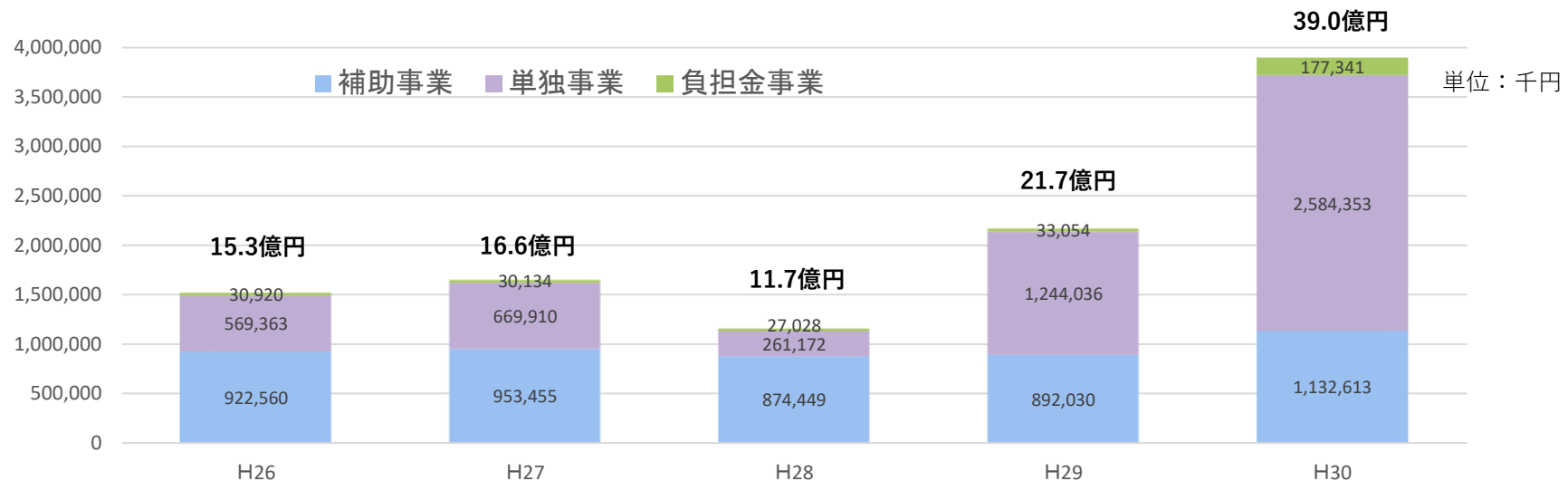
H30年度



H29年度



(4) 普通建設事業の推移（普通会計ベース）



○主な普通建設事業

- H26：【補】前島地区総合開発整備事業（3億5,000万円）【単】姫戸統括支所建設事業（2億5,877万4千円）【補】水産流通基盤整備事業（大道）（2億円）
- H27：【補】前島地区総合開発整備事業（3億8,123万7千円）【単】姫戸統括支所建設事業（3億4,882万9千円）【補】上天草港（江樋戸港区）改修工事（1億7,050万円）
- H28：【補】前島地区総合開発整備事業（3億4,785万円）【補】上天草港（江樋戸港区）改修工事（1億7,050万円）【補】樋島大橋補修補強工事（8,000万円）
- H29：【補】前島地区総合開発整備事業（5億5,531万9千円）【単】アロマインアリーナ空調設備設置事業（3億1,050万円）【単】松島陸上競技場人工芝整備事業（2億2,000万円）
- 【単】教良木保育園新築工事（1億6,180万円）
- H30：【単・補】前島地区総合開発整備事業（4億1,950万円）【単】（仮称）大矢野宮津地区複合施設整備事業（7億2,000万円）【単】（仮称）龍ヶ岳保育園新築事業（4億7,898万8千円）
- 【単】防災行政無線デジタル化整備事業（3億3,750万円）【単】斎場改修事業（火葬炉改修）（1億4,677万2千円）

平成30年度の普通建設事業費は、実質公債費比率等の財政指標に配慮した健全な財政運営を維持しつつ、平成29年度以降増加しているふるさと納税を活用し、合併特例債の発行期限を見据えた集中的かつ効果的な投資を行った結果、17億2,518万7千円増（前年比+79.5%）の38億9,430万7千円を計上。

(5)重点化事業（61事業） 事業費合計：34億2,170万6千円

①観光需要と観光消費の拡大（20事業） 事業費合計：9億8,259万2千円

○地方創生推進交付金事業

- ・【新】シーリゾートトライアングル構想推進事業（2,785万円）
- ・【新】湯島で生きる”島活”応援事業（962万円）
- ・【新】「観食住」サイクル事業（1,350万円）
- ・自然景観修景事業（600万円）
- ・観光拠点からのイメージ発信事業（1,000万円）
- ・複合型スポーツ&ヘルスプロモーション事業（498万円）
- ・観光トータルブランディング事業（2,000万円）

○ハード事業（一部ソフト含む）

【社会資本整備総合交付金事業】

- ・前島地区総合開発事業（4億8,361万5千円）
- ・千巖山開発事業（4,030万円）
- ・【新】道路改良事業（樋合地区リゾート開発）（1億9,000万円）

【その他】

- ・【新】樋合リゾート開発事業（3,386万2千円）

○ソフト事業

- ・天草四郎観光協会補助金（3,493万1千円）
- ・ONSENガストロノミー推進事業（117万円）
- ・観光ガイドの会事業（105万6千円）
- ・イベント補助金事業（1,100万円）
- ・サイクリングツーリズム推進事業（89万8千円）
- ・総合観光プロモーション事業（1,269万1千円）
- ・外国人観光客誘致事業（924万6千円）
- ・スポーツ合宿誘致事業・スポーツの里づくり推進事業（712万4千円）
- ・景観を満喫できる観光魅力づくり（6,474万9千円）

②農林水産物の生産・加工品開発・販売の促進（13事業）事業費合計：3億2,543万2千円

○地方創生推進交付金事業

- ・遊休養殖場を活用したアサリのブランドづくり事業（2,050万円）
- ・ 熊本マルシェ美味かモン出店事業（144万円）
- ・ 販売促進スキルアップ研修事業（100万円）
- ・ 関西・上天草交流事業（230万円）
- ・ 市産品開発支援事業（515万4千円）
- ・ ブラッシュアップ事業（483万7千円）

○ハード事業

- ・ 【新】物産館さんばーるに直結した生産販売体制づくり（2,330万9千円）
- ・ 水産物供給基盤機能保全事業（2億160万円）
- ・ 農林水産業の経営基盤の強化（県営農業農村整備事業）（1,172万8千円）

○ソフト事業

- ・ 地産地消の推進（地場農畜産物利用拡大事業）（245万9千円）
- ・ 新規就業者の育成・企業参入支援（認定農業者等支援事業）（1,611万1千円）
- ・ 遊休農地の活用（一般農業振興事務事業）（746万円）
- ・ 農林水産業の経営基盤の強化（水産振興一般事務事業）（2,753万4千円）

③地域ぐるみで子育てしやすいまちをつくる（7事業） 事業費合計：5億5,572万4千円

○教育施設等の整備・改修等

- ・【新】小中学校トイレ改修事業（小学校校舎営繕事業）（180万円）
- ・【新】小中学校トイレ改修事業（中学校校舎営繕事業）（676万2千円）
- ・【新】教育環境の整備（耐震）充実（小学校校舎営繕事業）（1,335万3千円）
- ・【新】教育環境の整備（エアコン設置）充実（中学校校舎営繕事業）（1,694万9千円）
- ・ICT教育のための環境整備（3,355万9千円）
- ・龍ヶ岳公立保育園の整備（4億7,898万8千円）

○ソフト事業

- ・上天草高等学校の魅力向上（431万3千円）

④安定した魅力ある雇用の創出（3事業） 事業費合計：3,444万4千円

○ソフト事業

- ・海運業の活性化（1,023万円）
- ・雇用の場創出と企業の人材不足解消（企業誘致事業）（138万円）
- ・雇用の場創出と企業の人材不足解消（商工振興対策事業）（2,283万4千円）

⑤災害に強い地域づくり、市民の防犯・防災意識の向上（9事業） 事業費合計：4億9,166万3千円

○ハード事業

- ・【新】防災行政無線のデジタル化（3億3,750万円）
- ・【新】合津地区の治水対策（699万9千円）
- ・【新】北消防署移転に伴う防火水槽の解体設置（650万円）
- ・【新】大矢野庁舎非常電源導入事業（5,764万3千円）
- ・【新】龍ヶ岳地区の消防団格納庫の整備（80万円）
- ・排水機場の整備管理（土地改良施設維持管理適正化事業）（4,814万円）

○ソフト事業

- ・自主防災会活動支援補助金（100万円）
- ・排水機場の整備管理（施設管理事業）（3,108万1千円）
- ・避難場所等整備事業費補助金（200万円）

⑥合併後における課題の解決（9事業） 事業費合計：10億3,285万1千円

○公共施設、インフラ等の整備・改修等

- ・市道舗装事業の推進（単独）（1億3,500万円） ・市道舗装事業の推進（補助）（6,000万円）
- ・道路改良事業（補助）（2,000万円） ・道路改良事業（単独）（2,526万円）
- ・【新】交通安全施設整備事業（2,000万円）
- ・（仮称）大矢野宮津地区複合施設整備事業（7億2,000万円）

○ソフト事業

- ・八代・天草架橋建設の推進（85万3千円）
- ・汚水処理人口の向上対策（浄化槽設置助成事業）（4,472万8千円）
- ・都市部からの人の流れの拡大（移住促進事業）（701万円）